

大崎市古川
中里地区

世の中へ「感動」「安全」「環境」3つの価値提供を目指します

アルプスアルパイン株式会社は、1945年の創業以来、車載、家電、モバイル、ゲーム、産業機器、IoTなど幅広い市場で様々なソリューションを提供しています。

県内では、1964年大崎市古川で操業を開始。当時、創業者の思いとして、勤勉な東北の人たちであり、当時は出稼ぎが多く、この出稼ぎを解消したいこと。労働集約型の製造だけでなく、開発・技術も東北へ、コア機能を地元採用の人材と共にしたい。地域に役立ち、地域に根付くとの思いから現在に至っております。

現在、県内には2つの開発拠点（大崎市/仙台市）と3つの製造拠点（大崎市、角田市、涌谷町）で、電子部品や車載製品の開発、製造を行っています。

2023年4月、仙台開発センター(古川)内にR&D新棟を竣工しました。R&D棟は、グローバル開発拠点機能を有しており、社内外のエンジニアの交流を促進させる施設デザイン・最先端設備により、新たな価値の創造を行っています。

宮城県の魅力は、鉄道・高速道路・空港・港湾の充実した交通

インフラです。人材の観点では、国立大学をはじめ、高等専門学校など高等教育機関が豊富にあり、若くて優秀な学生が集まる「学都」であることも魅力です。

より行政に期待することは、ものづくり産業誘致に加え、IT、AIをはじめとした先端産業の活性化、次世代放射光施設の活用。大学等の研究機関とのコラボレーションの促進を加速し、選ばれる宮城県、選ばれるまちを目指し、産官学金連携のリーダーシップを期待致します。

アルプスアルパインは、「人と地球に喜ばれる新たな価値を創造します」という企業理念のもと、ハードウェアとソフトウェアの両技術で挑戦を続けていきます。



m 宮城製粉 株式会社

亶理町亶理中央地区
工業団地

「プロの品質とプロの価格」で業務スーパーのヒット商品を製造

宮城製粉は全国に1,000店舗以上を有する業務スーパーなどを手掛ける神戸物産のグループ会社として、レトルト食品やチルド惣菜、冷凍菓子団子など、業務スーパーで販売されている商品を製造しております。宮城県内に6工場（丸森町・角田市・石巻市・亶理町）を構え、工場ごとに生産商品を分けて効率化を推進すると共に新商品開発を進め売り上げを着実に伸ばしております。

なかでも2024年4月に亶理町に移転開設された本社工場は、最新の自動製造ラインを備える大規模工場となっており、「おとなの大容量レー」等のレトルト食品、「やわらか煮豚」等のチルド惣菜、「みたらもち」等の冷凍菓子団子を製造しております。この新工場の誕生により、生産能力は従来比で2.5倍に増強され、生産アイテムも一気に80品目超へと増加し、消費者の需要増加に応えられる体制を整えました。

宮城県亶理町は地理的に仙台都市圏南部の交通要衝に位置

しており、常磐自動車道鳥の海スマートインターチェンジからも近く、交通アクセスをはじめ非常に利便性の高い位置にあります。また、地元高校をはじめ食品系の高校や近隣地域からの雇用も数多く、採用の面でも魅力です。

企業理念である「製販一体のチームワークで世界中の人々に“おいしい”“わくわく”をお届けし、笑顔あふれる豊かな暮らしに貢献する」のもと、品質管理を徹底し、安心・安全で美味しい商品をリーズナブルに提供していくよう努めてまいります。

